

# 銚子市総合計画策定「市民ワークショップ」の進め方

## 第1回テーマ「10年後の銚子市～人口減少対策を考えよう～」

### 1 グループ討議のルール

- ①限られた時間の中で全員が発言できるよう、発言は手短に
- ②同じグループの他の意見をしっかりと聞き、自分の考えを広げましょう
- ③参加者の意見の成否や優劣を決める場ではありません
- ④時間を守って進めましょう

### 2 作業の進め方

#### ①自己紹介、役割分担を決めよう

- ・名札に氏名を記入し1人ずつ自己紹介をしてください。
  - ・話し合いに入る前に、発表者を1人決めてください。
- (グループ内の進行役は市があらかじめ指名した方となります。)

#### ②テーマに沿った意見を自由にフセんに記入しよう

- ・人口減少への対策について、「行政が行うべきこと」「市民・地域ができること」「協働でできること」を考え、フセンを使って自由に記載してください。
- ・1枚のフセンには1つのことを書き込みます。

#### ③1人ずつ説明しながら、分野別に模造紙に整理しよう

- ・模造紙にはあらかじめ、テーマと分類タイトルを記入してください(記載イメージ参照)。
- ・記入したフセンの内容について1人ずつ説明しながら、大きな模造紙に貼り込みます。
- ・模造紙に貼り込む際には、意見の種別ごとに整理して、分類していきます。

#### ④共感できる意見を探そう

- ・全員が説明し終わったら、これまでのお互いの意見を聞いて、共感できるフセンを抽出します。

#### ⑤話し合った内容を発表しよう

- ・発表前に模造紙を見ながら、話す内容を整理してみてください。
- ・発表はあらかじめ決めた発表者が行いますが、グループ全員で前に出てお手伝いします。
- ・各グループ2～3分ぐらいで発表します。

### 3 その他

①2回目以降の市民ワークショップは、次のテーマ（案）に分かれて進めていく予定です。

#### 1 ライフステージの分野（当事者の目線に立った議論）

##### A. [生まれる・育つ] グループ = 出産、子育て

「銚子での結婚生活にはどんな魅力がある？」「子育て環境はどうすればよくなる？」など

##### B. [学ぶ] グループ = 学ぶ場、学び方、街の将来

「銚子のことはどこでどのように学べるの？」「30年後の銚子はどうなっている？」

「異世代交流が持つ可能性は？」など

##### C. [働く] グループ = 働き方、地域での生活

「銚子で働くことは難しいの？」「銚子へのリターンを増やしていくためには何が必要？」

「銚子で働く魅力とは何か？」など

##### D. [老いる・死ぬ] グループ = 老後、介護、最期の迎え方

「安心した老後には何が必要？」「自分は最期をどこでどのように迎えたいか？」など

#### 2 コミュニティの分野（当事者を取り巻く環境と支え合いをめぐる議論）

##### E. [家庭・近隣] グループ = 独り暮らし、近所の支え合い、地縁団体

「近所の支え合いは可能か？」「大規模災害時における自助・共助は可能か？」「これからの地縁団体はどうあるべきか？」など

##### F. [学区・生活圏域] グループ = 地域拠点、地域活動、専門家活動

「地域包括ケアシステムはどうすれば充実するか？」「様々な地域拠点はどのようにすればネットワーク化できるか？」「地域活動支援において寄付が持つ意義とは何か？」など

##### G. [産業・自然] グループ = 経済活動・環境活動

「これからの農業/漁業/観光はどうなっていくのか？」「どうすれば地場産業をまちづくりに活かせるのか？」「異分野・異業種の連携は可能か？」など

##### H. [広域連携] グループ = 近隣自治体、県・国・世界との関係

「近隣自治体との連携はどのように作り出せるか？」

「銚子を世界にアピールするために何ができるか？」など

②市民ワークショップの資料や結果は、随時、市のホームページで公開します。

なお、市民ワークショップへの参加が難しい方は、メールやファックスなどで随時ご意見を募集していますので、お寄せ下さい。

お問い合わせ

銚子市企画課企画政策班

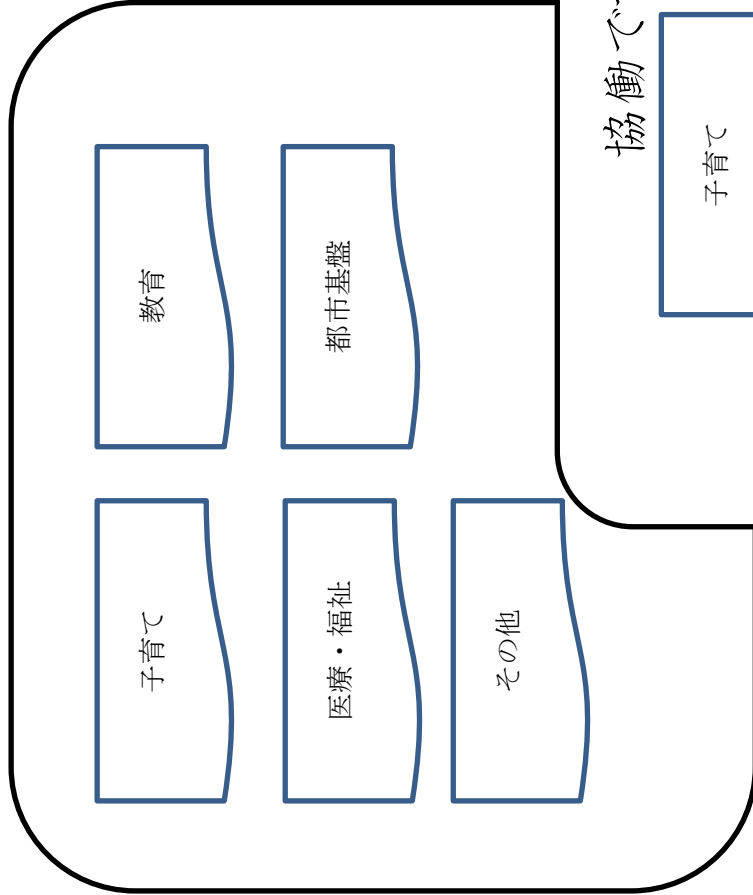
電話 0479-24-8904

FAX 0479-25-4044

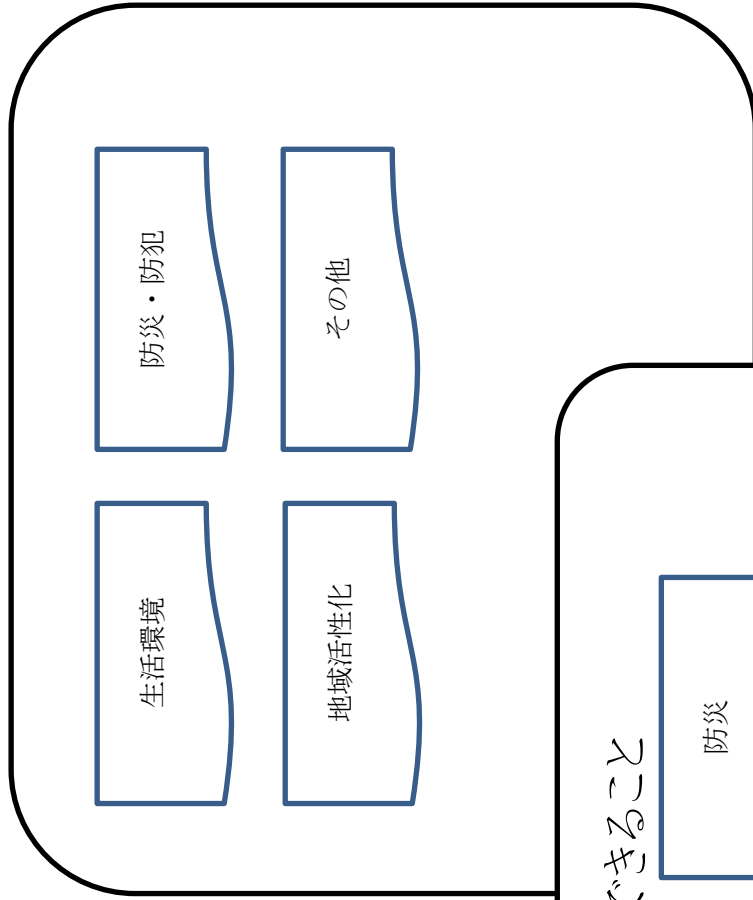
メール [info@city.choshi.lg.jp](mailto:info@city.choshi.lg.jp)

10年後の鉾子市～人口減少対策を考えよう～ ○班

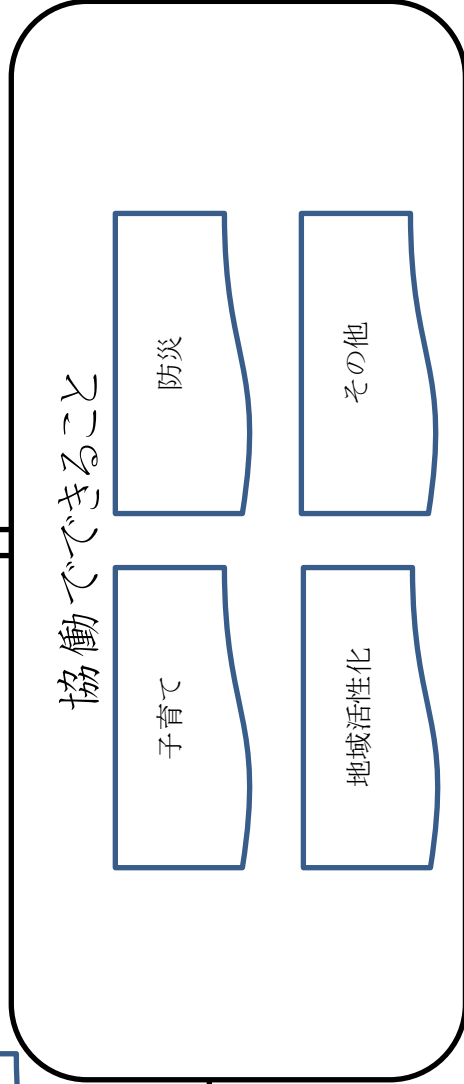
行政が行うべきこと



市民・地域ができること



協働のできること



＜2回目以降のワークショップ作業シートイメージ＞

<p><b>施策分野</b></p> <p>保健・医療</p>	<p>＜行政が行うべきこと＞</p>
<p><b>現状と課題</b></p>	<p>＜市民・地域ができること＞</p>
<p>＜現状＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の平均寿命・健康寿命が短い</li> <li>・夜間救急輪番体制が確立されていない</li> <li>・地域包括ケアシステムが確立されていない</li> <li>・在宅医療の提供体制の不足</li> <li>・医師・看護師・医療スタッフの不足</li> </ul> <p>＜課題＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の平均寿命・健康寿命の延伸</li> <li>・医療提供体制の確保(医師会員の高齢化)</li> <li>・夜間救急体制の確立</li> <li>・地域包括ケアにおける保健・医療・介護の連携</li> <li>・在宅医療の提供体制の充実</li> <li>・医師・看護師・医療スタッフの確保</li> <li>・市立病院の医療機能の充実</li> </ul>	<p>＜協働でできること＞</p>